

ある。なんかね、鍼しとるからマシな気がする。口内炎も
あるけど、薬に過ごせています。

脈診：脾・肝渋、腎弦

触診：左上巨虚緊張、右太溪陷凹、左三陰交深部硬結、右公孫緊張

☆治療部位

〈毫鍼〉左内庭、左外内庭、左俠溪、右太溪、左三陰交

〈鍍鍼〉右太溪

〈円皮鍼〉左合谷、左三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、左俠溪、
右公孫

8月15日

18:00 鍼灸治療4診目

しびれは変わらんあ。でも今日は、右が楽かも。

脈診：肝渋

しびれ：右VAS=18mm、左VAS=43mm

☆治療部位

〈毫鍼〉右三陰交、右太溪、左上巨虚

〈円皮鍼〉左三陰交、左合谷、右太溪、左内関

20:00 会陰部痛：NRS=1~2程度

8月16日

10:30 痛み止め効いているから痛くないよ。味覚も戻ってきたし。

17:30 鍼灸治療5診目

足が腫れている気がする。しびれはちょっとマシ。しびれ
に波がでてきた。明らかに朝起きた時の痺れが、今朝は少
なかったわ。

脈診：肝渋、脾滑、腎微弦

しびれ（朝～昼）：右VAS=15mm、左VAS=32mm

しびれ（昼～）：右VAS=20mm、左VAS=34mm

☆治療部位

〈毫鍼〉左上巨虚、三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、左俠溪

〈円皮鍼〉太溪、合谷、左太溪

8月17日

20:00 今日は調子が悪い、全身が重だるい感じ。痛いというわけ
じゃないんやで。

8月18日

13:00 お尻のところが痛いなあ。(NRS=)1くらいやけどね。今日
はちょっとえらかったわ。痺れはずっとじゃないんやけど。

レスキュー使用回数：2回

8月19日

6:00 腹がグーッと刺しこむんや…イタタタタタ…。

NRS=3の痛みを訴える。

12:30 あーリハビリか。そうやな。まだ宵は。鍼の人がよう頑張

ってくれとる。リハビリオーダーの話を出すも消極的(?)

8月20日

6:30 昨日下剤やめたら、お腹が痛いのがなくなったわ。

16:30 鍼灸治療6診目

あんまり変わらんです。土踏まずの所がちょっとマシにな
ったかな？ちょっと薬独特の倦怠感があつて、ご飯が食べ
れなかったけど、今日、朝、昼食べれたよ。

脈診：脾渋、腎弦

しびれ（ツツパリ感）：右VAS=15mm、左VAS=41mm

☆治療部位

〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、右太溪、左太衝、左内庭、左外内庭、
左俠溪

〈円皮鍼〉左蠡溝、右太溪、右内通谷

レスキュー使用回数：0回

8月21日

10:00 体がらくになってきました。

18:41 鍼灸治療7診目

さつきえらくなつたから薬飲もうと思つたけど、リハの先
生に背中さすってもらつたらスーッと楽になつた。足裏は
今朝も楽だった。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔（舌尖剥落）

触診：右内関緊張、右神門緊張圧痛、右隠白圧痛

しびれ：右VAS=16mm、左VAS=30mm

☆治療部位

〈毫鍼〉右内関、右神門、左蠡溝、右三陰交、右太溪、左太衝

〈円皮鍼〉合谷、左通谷、右隠白、右内関、右神門、臍中

20:00 昨日、今日は楽です。

レスキュー使用回数：0回

8月22日

8:00 痛みの訴えなし。便出てない。

18:00 鍼灸治療8診目

調子いい。朝から今までだるい事もなかった。あ、まだ便
がでてません。

脈診：脾微弦

しびれ：右VAS=10mm、左VAS=28mm

☆治療部位

〈毫鍼〉左蠡溝、右三陰交、左内庭、左外内庭、左俠溪

〈円皮鍼〉右内通谷、右蠡溝

8月23日

14:30 モンキーバナナ3本分排便あり

17:00 鍼灸治療 9 診目
今日、薬飲まんで、ぱっちり便でした。
脈診：腎弦、肝微弦
しびれ：右 VAS=17mm、左 VAS=28mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、右太溪、蠡溝、左太衝
〈円皮鍼〉右太溪、右内通谷、合谷、右神門
8月24日
9:00 昨日、便出てスッキリした。
10:00 外泊へ
8月25日
21:30 外泊中、レスキュー使用せず経過
8月26日
21:00 今、一番調子が良い。会陰部 NRS=1
レスキュー使用回数：1回
8月27日
12:30 不安とかないで。会陰部 NRS=1。
17:30 鍼灸治療 10 診目
いつものこっちゃ
しびれ：右 VAS=11mm、左 VAS=27mm
☆治療部位
〈毫鍼〉湧泉、足底圧痛部 2 か所
〈円皮鍼〉内通谷、束骨・京骨の間、合谷
8月28日
8:00 ご飯食べたら、下腹部がズンと痛くなるんやな。CDDP+THP
18:00 鍼灸治療 11 診目
今日は抗がん剤の後からしんどい。左の下腿も硬くなった
感じやし。しびれもひどくなった感じ。
しびれ：右 VAS=10mm、左 VAS=30mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左太衝
〈円皮鍼〉左蠡溝
8月29日
14:30 オキシコドン塩酸塩(錠)、アセトアミノフェン(錠)、
エトドラクにて NRS=1 と疼痛コントロール良好。
17:30 鍼灸治療 12 診目
調子よく経過してる。検査結果で火曜日に退院予定
脈診：肝洪、腎弦・無力
しびれ：右 VAS=6mm、左 VAS=31mm
☆治療部位

〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左太衝、右内庭、右外内庭
21:00 排便なし。
センノシド 3 錠、ピコスルファート 10 滴、プロチゾラム錠
8月30日
15:30 会陰部痛：NRS=1、しびれ：右 NRS=2、左 NRS=6
16:00 鍼灸治療 13 診目
案外調子良い。朝、右の方はほとんど感じなかった。
しびれ：右 VAS=8mm、左 VAS=25mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左太衝、右三陰交
〈円皮鍼〉左三陰交、左内通谷、右行間、右大都、合谷
8月31日
16:00 排便あり。親指 2 本分。
18:00 今日は調子悪い。ご飯はいいわ。便秘と重なる。
9月1日
14:30 排ガスあり。トイレに行く毎に排便少量ずつあり。
18:00 嘔気あり、嘔吐なし。倦怠感著明
レスキュー使用回数：2回
9月2日
19:30 しんどいです。37.3℃ある。
9月3日
20:00 夕食、食べれた。
トイレ歩いて、しんどく感じる。会陰部痛：NRS=1
9月4日
16:00 鍼灸治療 14 診目
今日は調子良い気がします。ちょっと舌の裏の左側が痛い。
ちょっとピリピリするくらいで、支障はないんだけども。
脈診：肝虚、脾洪、腎弦
舌診：紅舌、舌辺剥落
しびれ：右 VAS=14mm、左 VAS=25mm
☆治療部位
〈毫鍼〉右内庭、右外内庭、右行間、左蠡溝、左地五会、左足底圧痛
〈円皮鍼〉右行間、右大都、左太溪、左公孫、左束骨・京骨の間
9月5日
16:30 鍼灸治療 15 診目
今日は気分もよくて、散歩してきました。
脈診：肝弦、腎・細・無力
舌診：紅舌、薄白苔、舌辺荒れ
触診：左上巨虚、左侠溪圧痛、
左蠡溝軟弱
しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm

☆治療部位

<毫鍼>合谷、左上巨虚、左侠溪、右太衝、左蠡溝

<円皮鍼>右外関

9月6日

17:30 鍼灸治療 16 診目

今日は昨日と同じ感じ、まだ便がでてない。歩いていると奥の方に酷くつっぱるというより重だるい。

脈診：洪、84 回/分

舌診：紅舌、舌尖紅、苔もろもろ

触診：右太溪陥凹、左上巨虚表面緊張・深部硬結、左下腿～足背に細絡

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、左膝関、右太溪、左公孫、左太衝、右内通谷、右臨泣

<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左束骨・京骨の間、右内通谷、右外関、右大都、右行間

9月7日

8:30 ちょっと汗かいてびっくりしました。

10:00 外泊

9月8日

18:30 便が出なかったのが気になってなちょっと張ってきたような感じ。

9月9日

7:30 ちょとずつ出したんやけど、詰まったような感じ。胃の方へもたれてくる。母指大の排便 2 個。

9月10日

13:30 便ができました。

17:30 鍼灸治療 17 診目

今日、洗腸してもらって、便出た

脈診：洪、腎無力

触診：左大腿外側緊張

しびれ：右 VAS=3mm、左 VAS=27mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、左太溪、右三陰交、右公孫、右地五会

<円皮鍼>合谷、太溪、右大都、右行間、左侠溪、左内通谷、右地五会

9月11日

9:30 本日化学療法 4 クール目

16:30 腹部ガス貯留あるが、腹壁ソフト。

17:00 鍼灸治療 18 診目

便がでない。トイレに行ったら塊が 2 個出た。

脈診：肝洪、沈、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、薄白苔、口渇あり

しびれ：右 VAS=7mm、左 VAS=21mm

☆治療部位

<毫鍼>復溜、内庭、外内庭、侠溪、右外関

<円皮鍼>左液門、右復溜、左太溪、右大都、右行間、合谷

9月12日

17:00 便が出ず、お腹の張った感じがひどくなってきました。

(KOT: -2 日)

17:00 鍼灸治療 19 診目

手がちょっと震えた。便がね…出なくなって、胃が圧迫されている感じがする…。

脈診：洪、腎無力

触診：左胸脇部緊張

☆治療部位

<毫鍼>三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪、右合谷

<鍍鍼>隠白、大都、腹部

<円皮鍼>三陰交

9月13日

1:00 前の時よりお腹が張った感じとかひどい。ガスもでてこん。

8:00 オキシコドン塩酸塩(錠) 10mg→フェントステープ 1mg

8:30 イレウスであることを CT で確認

17:00 鍼灸治療 20 診目

イレウスチューブを入れたとこなんや。やっぱりつまっとったみたいや。チューブ入れたからちょっと楽になった。足のしびれは少しマシになった。

脈診：肝洪、腎弦

触診：左足三里緊張、左陽明熱感、左下腿細絡

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=26mm

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左内庭、左外内庭、左侠溪、左条口、右三陰交、左外関

<円皮鍼>左外関、左内庭、左外内庭、左侠溪

9月14日

10:00 動けんことはないけど、動くと腹がクルクルいう。ガスはでとらん。

9月15日

20:00 排ガスなし。腸蠕動音、微弱だが聴取できる。

9月16日

10:30 お腹のふくらみはマシになりました。便ありますが、オナラはありません。

21:00 便が出なかったとき3日間、今回、腸閉塞になってしんどかったのが4日間…しんどかった。化学療法のしんどさどっか行ってくれればいい)のに。

9月17日

8:00 小指太4~5個、便が出てきました

15:30 フェントステープに変更から疼痛コントロール良好。

17:30 鍼灸治療21診目
イレウス管抜きました。

脈診：脾細滑、肝無力、96回/分
触診：胆経緊張(R<L)、左腎経緊張陥凹、右足三里緊張
しびれ：右VAS=7mm、左VAS=22mm

☆治療部位
<毫鍼>左内通谷、臨泣、左太溪、右内関、右足三里、左太衝
<鍍鍼>左内庭、左外内庭

9月18日

15:30 便は昼から少し出た。尿中に黄色いもろもろあり。
腹痛なし。NRS=1

17:30 鍼灸治療22診目
足の裏は変わってないよ。調子ええ。本日は今やりたいことを語られる
(家の修理、身辺整理、野菜作りなど)

脈診：肝渋、腎細、81回/分
舌診：紅舌、白膩苔(舌中~舌根)
しびれ：右VAS=6mm、左VAS=22mm

☆治療部位
<毫鍼>右上巨虚、左内通谷、三陰交、右太溪、左中封
<円皮鍼>左内通谷、三陰交

9月19日

11:00 ここが膀胱やったところやろ？左側がシワーッと痛いんや。

14:30 鍼灸治療23診目
調子がいいので楽な気がする。

脈診：腎弦、脾滑、69回/分

☆治療部位
<毫鍼>左足三里、右上巨虚、左三陰交、右太溪、左中封
<円皮鍼>合谷、三陰交、右太溪、左内通谷

9月20日

20:00 イレウスが再発腫瘍によって生じて起きており、今の状態では食事再開できない。そのため、人工肛門にするしかないと説明する。

9月21日 フェントス2mgにUP。人工肛門設置のため、外科に転科。

9月22日

14:00 午前中、嘔気はないが、腸蠕動にて痛みあり。
午後から緩和している。

9月23日 著変なく、経過している。

9月24日

17:00 経肛門より、イレウスチューブを固定。

18:00 鍼灸治療中止

9月25日

8:00 痛み止めがきいとるんのか、お腹グルグル言ってもちよつとだけ。NRS=1

16:00 鍼灸治療24診目
月末に手術があるんや。人工肛門つけなきゃあかんって…。でも、1週間くらいしたら楽になると思うし…。

脈診：脾虚やや渋、肝腎無力
舌診：淡白、白膩苔
触診：左腎経深部冷感、太溪陥凹軟弱、左公孫軟弱、左膀胱経緊張、下腿細絡

☆治療部位
<毫鍼>左上巨虚、右三陰交
<e-Q>太溪、左公孫
<円皮鍼>左蠡溝、太溪、左内通谷

9月26日

10:30 会陰部痛、自制内。

16:30 鍼灸治療25診目
あ…うん…昨日と一緒やで。
手術の説明を不安そうに待っている。

脈診：肝腎虚、脾渋
しびれ：右VAS=5mm、左VAS=20mm

☆治療部位
<毫鍼>左三陰交
<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左内通谷

9月27日

14:00 グルグルとなったら痛いけどな、楽になる。けど、ガスは出えへんから、ゲップが出とる。

17:30 鍼灸治療26診目
…(5分間沈黙)…。5分後手術に対する不安を語られる。

☆治療部位
<鍍鍼>太溪、右内関、右労宮

9月28日

11:00 お腹がゴロゴロなったら、ゲップが出る。お腹は痛くない。

9月29日 著変なく、経過している

9月30日 人工肛門設置 (OPE)

10月1日

16:30 術後発熱により、鍼灸治療中止

10月2日

16:30 鍼灸治療 27 診目
傷の所が痛い。左足背辺りが何か熱い気がするんや。

☆治療部位
〈鍬鍼〉左行間、左内通谷

10月3日

16:30 昼過ぎに低血圧を起こし、トイレから動けなくなり、やっとベッドに落ち着いたところということで、鍼灸治療中止

10月4日

16:30 鍼灸治療中止し、会話のみ行う

18:00 表情穏やか、日中は散歩もしてきて、病棟2週できました。

10月5日

18:00 発熱 39.5℃まで。

19:30 服薬にて 37.0℃まで軽減する。

10月6日

12:30 創傷部位の疼痛を訴えあり。

10月7日

21:00 不眠および疼痛の訴えあり。

10月8日

15:00 足のだるさを訴える。

15:30 鍼灸治療 28 診目
足の裏は変わらん、酷くなつてはない。けど、足が細くなつた分、皮が弛んで変な感じ。

脈診：脾弦、腎無力
舌診：暗淡白、舌尖紅、白膩苔（舌尖剥落）

☆治療部位
〈円皮鍼〉左太溪、左陥谷、左外陥谷、左侠溪

10月9日

17:00 鍼灸治療 29 診目
足はだるい。足の裏とは別の感じで。検査で歩いて行っても、帰りは迎えにきてもらわないとかなん。足がだるくなってしまうんや。

脈診：腎無力
触診：太溪冷感、左陽明経熱感

☆治療部位
〈毫鍼〉足三里
〈円皮鍼〉左行間、左内庭、左外内庭、左侠溪

〈e-Q〉太溪

10月10日

10:00 朝食開始。腹部ソフト。
食後2時間後から水様便、排ガス多い。

17:30 鍼灸治療 30 診目
今日は昨日より元気な気がする。
しんどくても家人が心配するから元気という。

脈診：肝腎無力

☆治療部位
〈毫鍼〉右上巨虚、太溪
〈円皮鍼〉太溪、右大都、右行間

20:00 外の空気すつたら、ムカムカがマシになった。

10月11日

16:00 胃薬を止めてからちょっとお腹張っている。腹部膨満感持続、悪心はない。

16:30 鍼灸治療 31 診目
ここの先生は話やすく、真面目で安心です

脈診：腎微弦、無力

☆治療部位
〈鍬鍼〉上巨虚、太溪、左太衝

10月12日

10:00 便は出ている。お腹は少し張るかな。

10月13日

9:30 上腹部に不快感あり。

10月14日 著変なく、経過している

10月15日

17:30 鍼灸治療 32 診目
歩いたらしんどい。ちょっとムカムカするんや。

脈診：滑、72回/分
触診：左不容圧痛
しびれ：右 VAS=12mm、左 VAS=30mm

☆治療部位
〈毫鍼〉左湧泉、交信、右太衝、右公孫
〈円皮鍼〉左不容、交信、左内通谷

10月16日

10:00 おさえると痛いわ。水分やら飲むと胃がもたれする。

17:00 鍼灸治療 33 診目
足の裏は変わらん。右の方はほとんど感じない。
しびれ：右 VAS=7mm、左 VAS=24mm→治療後：VAS=15mm

☆治療部位

<毫鍼>左湧泉、左足三里

<円皮鍼>左気戸、左侠溪、左通谷

10月17日

8:30 重湯飲んでもムカムカしなかった。

15:00 鍼灸治療 34 診目

寒いので、調子悪い。ムカつきは食後 30 分でしとったのが、2 時間以上経っても軽くきたくらい。足の裏も今日はほとんど感じなかった。

脈診：腎弦細

舌診：淡白、白膩苔、舌尖紅

しびれ：右 VAS=5mm、左 20mm

☆治療部位

<鍤鍼>左太溪、左足三里、左湧泉

10月18日

15:30 重湯しか食べられん。プリンとかゼリーの方が美味しいんやけど、胸焼けする。

16:30 泌尿器に転科直後で疲労感が強いので、鍼灸治療中止。

10月19日

21:30 ジュース（エンシュア）飲んでも胸焼けしてなあ。胃薬飲んだんや。

10月20日

21:00 前はプリンも食べれんかったけど、1 時間後に胸焼けするもプリン食べられるようになる。

10月21日

10:00 会陰部痛：NRS=1、足底は著変なく、軽度痺れを訴える。

10月22日

9:30 昨日の朝から排便なし。

15:30 鍼灸治療 35 診目

特にかわりないよ。しびれも調子よい。

脈診：脾虚、肝腎無力、細、102 回/分

しびれ：右 VAS=7mm、左 VAS=20mm

☆治療部位

<鍤鍼>左湧泉、右然谷、右交信、右地五会、右太衝

<円皮鍼>左内通谷、左通谷、左然谷

21:00 元気になってきたが、寝てるんがしんどい。

10月23日

16:00 食べた後も、ムカつくこともない

17:30 鍼灸治療 36 診目

今日も少し歩いたよ。あまり変わらんけど、歩いた時に気にならなくなった。

脈診：脾滑、腎無力、肝弦

舌診：淡紅、舌根部厚苔、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>右公孫、左太溪、右行間

10月24日

2:30 ガス出とるから、張った感じはない。

6:00 胃付近に圧迫感を訴える。

17:00 鍼灸治療 37 診目

今日は便がでてないから、しびれよりもそっちばかり気になった。

脈診：腎弦、肝微弦

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、右三陰交

21:00 便が出てないで心配したけど、今、少し出た。

10月25日

15:30 便が出たし、ご飯が美味しかった。

17:00 鍼灸治療 38 診目

お昼過ぎに便出た。もともと便秘症であったんや。2~3 日に 1 回とか、酷い時は 1 週間に 1 回やった。

脈診：滑、78 回/分

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=17mm

☆治療部位

<毫鍼>左復溜

<円皮鍼>左内通谷、左地五会、左公孫

10月26日~27日 外泊

10月28日

16:00 寝とるだけだからかもしれんけど、病院ベッドが硬くてしんどく感じたわ。家の方がやっぱりいい。

10月29日 退院

※以後、外来にて経過観察。その際、鍼灸治療は介入せず。

12月14日 悪寒戦慄、胸部不快感にて再入院

12月16日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

しびれに対して介入した結果、1 診目右 VAS=32mm、左 VAS=48mm であったところが、介入後から日内変動がみられ、鍼灸介入最終日には右 VAS=5mm、左 VAS=17mm とほとんど感じなくなったことから、著効と診断した。

一方、整腸に対しては鍼灸により腸蠕動音確認できるも、腹膜播種による腸閉塞が起こってしまい、人工肛門設置に至ったことからやや有効と評価した。

● 患者コメント

調子が良いというコメントが多々認められた。

● 家族コメント

今でも笑ってるみたいで。色々お世話になりました。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

患者からの信頼が得られており、スタッフ側で開けていなかったことを鍼灸師側で聞いている事があった。

【総括】

本症例は膀胱摘出後より発症したしびれと、整腸に対して行った。愁訴に対する鍼灸治療効果は、しびれ：著効、整腸：やや有効とした。その他にも化学療法による全身倦怠感を訴えることもあったが、鍼灸治療後には改善が認められた。癌に直接関係する痛み、むかつきは医療スタッフに訴えることはあったが、「こっちがしびれるとか、あっちがおかしいとか、しょうもないことを言えるのは、鍼灸の先生にしか言えん。こんな大した事ないこと言っても、迷惑やしな」と医療スタッフに気を使う面も見られた。

脈を始め、舌、爪、皮膚など些細な所見から治療方針を決める鍼灸治療であるからこそ、聞き出す情報が多く、そのため、医療スタッフとは別の信頼を得ることができたのではないかと考える。この患者もまた、「この人（妻）が倒れたら、かなん。心配なんや」と、訴えられ、院内での家族のケアのための鍼灸治療室ができることを希望されていた。

20130013(N0.63)

【患者】48歳、女性

【既往歴】腓体部癌、多発肝転移

(T4 N3 M1 stageIVb)

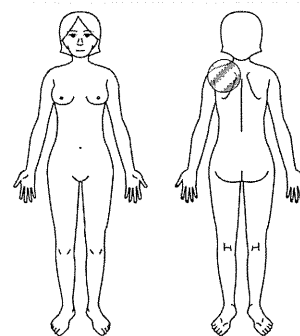
【病態】腓体部癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X年5月、背部痛を訴え、A病院を受診。検査の結果、腓体部癌と診断。入院、EUSFNAで腺癌と診断される。入院後、GEM(1400mg 3投1休)開始。軽度の嘔気で大きな副作用なし。2クール目より外来でフォロー。

7月、腹部CT：原発巣軽度縮小も。肝転移巣増加、増大。また全身倦怠感あり。家人の事情により7月25日から本院でフォロー。TS1への変更を提案したが、余命を抗癌剤の負担なく、過ごしたいとのことでBSC疼痛コントロールに。1人の時間が多かったことによるストレスがかなり強かったのが影響。



【服薬状況】

ラベプラゾール(胃酸を抑制)→エソメプラゾール、

追加：プロクロルペラジン(精神薬・嘔気止め)

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mg

8時間ごと：ロキソプロフェンNa

マグミット1回3錠、プレゼニド(7月25日)、リンデロン4mgに増量

【鍼灸治療目的】

検査をしていないため、不明ではあるが、癌転移による左肩甲間部痛の可能性もあったが、患者自身が服薬量をできるだけ抑えたいという思いから鍼灸治療が依頼された。

【東洋医学的所見】

声小さく、黄疸著明、太溪軟弱、痛みの性質：どこかで引っ張られているような重だるいようなズキズキするような痛み。口渴あり。脈診：虚、腎無力。

【弁証】左手太陽・少陽小腸経絡病、肝血虚、腎気虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】4回/週、5回

【転帰】 逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】 2日間

【評価】 評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 左肩甲間部痛：有効

【治療経過】

8月9日

5:00 背中がピリピリしてきた気がする。
じわじわ怠くなるんです。

8:00 少し便が出たので少しすっきりしています。左肩が起きる時に痛みます (NRS=9~10)。食事3割摂取できている。

17:30 フェントステープ 1mg→2mg に変更
レスキューはオキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg

21:00 痛み：NRS=2~3 ぐらい

21:00 痛み：NRS=4~5

23:00 レスキュー効いておらず、痛み NRS=7~8 の痛みが続く。

8月10日

7:30 ロキソプロフェンナトリウムは長く効くんですけど、何やったかな…オキシコドン塩酸塩水和物(散)はすぐに効くけど、持続しない感じです。(フェントステープ 2mg に増えましたが?) どやろ? 昨日は3時まで眠れた気がします (NRS=4~5)。

8:00 夜間疼痛あるため、オキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg→10mg に増量する。

16:00 午後から痛みあり。肩甲間部：NRS=6~7、腰背部：NRS=4~5。14:10にレスキュー使用すると14:30には半分に軽減。その後、NRS=1に。30分ずらして2包飲んでもらうことにする。

22:00 痛くって (NRS=7)。

23:00 NRS=4 に落ち着く。
レスキュー使用：5mg×2回、10mg×1回

8月11日

8:31 夜間は痛みなく過ごせました。

10:01 痛み? 痛みは (NRS=) 2 くらい。

19:54 NRS=4 の腹痛あり。起き上がると NRS=8 に増悪。レスキュー使用後 NRS=2 まで落ち着く。

レスキュー使用：1回

8月12日

10:00 長く話をしていると息が上がってきます。右側から起きるのは楽だけど、左向きから起きようと思ったら左肩が痛いんです。23時にロキソプロフェンナトリウムを服薬しているので、3~4時間寝ています。持続するような痛みではないので、ロキソプロフェンナトリウムで大丈夫そうです。

8月13日

10:00 昨日は眠れました。23時にロキソプロフェンナトリウムのんで、4時半まで痛みで起きることもなかったです。

16:30 鍼灸治療 1 診目
訪室時、ベッドに横になっていたが、説明時は座位になれる。さっきレスキュー飲んでしまったんだけど、しんどくて。薬飲んででも何か痛いんです。どんな痛み? ん〜…ズーンとした感じです。何とも言えない痛みです。今も痛い (VAS=77mm)。

鍼灸治療中：【本人】あ、何か気持ちいい、ぼわ〜として、温かい感じ
です。あ〜気持ちいい。これならまた受けたい。

【娘】さっきより声が元気になったやん。【本人】うん。何か楽。いいよ。これ。何かあったら、鍼してもらおうといいわ。と娘に対して言われる。治療中は息切れなく、笑みが認められた。

脈診：虚、腎無力

痛み：VAS=77mm→治療後：VAS=55mm

☆鍼灸治療

<毫鍼>左外関、左太溪、左地五会

<鍣鍼>左肺俞、太溪

<円皮鍼>左太溪、左肺俞

17:00 さっき鍼灸さんがきてくれました。めっちゃ気持ちよかった。あれ、やった方がいいですよ。そんなに痛くなかったし。

21:30 痛みは (NRS=) 1 か 2。鍼灸してもらったらぼわ〜とした感じがします。レスキュー使った後に来られたので、どっちが効果あったかわからないんですけど、足にもしてもらいました。痛み：背部 NRS=1~2、動作時 NRS=6~8

レスキュー使用：2回

8月14日

8:30 鍼灸は、気分転換になりました。

16:30 鍼灸治療 2 診目
痛みが前より、明確になってきた感じがします。右腕も動かすと連動しているのが痛みます。薬飲んだから痛みがあまり良く分からないけど。

治療後：痛みがある時、全身に力が入ってる感じがするんですけど、はあ〜なんか鍼灸してもらったら脱力。緊張が解ける感じ。

脈診：虚、細、肝弦、腎無力

舌診：淡白、薄白苔、舌下静脈怒張

痛みの部位前回より 1cm ほど下になる

痛み：VAS=61mm→治療後：ウトウトしてとれず。

☆治療部位

<毫鍼>外関、左三陰交、右上巨虚

<鍡鍼>太溪、太衝、左神門、左厥陰俞

<円皮鍼>左厥陰俞、左外関、左肩井

20:00 鍼灸の後、ちょっと楽になった気がします。やっぱり動いた時はちょっと痛みますが。

レスキュー使用：5mg×4回、 10mg×2回

8月15日

6:00 夜中は少し眠れました。2~3時間でも眠れると楽ですね。

左肩：VAS=40mm、背中：VAS=58mm

16:30 鍼灸治療 3 診目

痛みの場所が明確になりました。ちょっとずつ変わってきますよね。時々脇の方まで帯状に痛みがある。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>右臨泣、右上巨虚、左復溜、左後溪

<鍡鍼>左肺俞、左心俞

<円皮鍼>左肺俞、左心俞、左地五会、左後溪

18:30 シャワー中に痛み増悪。

痛み：VAS=96mm

20:00 痛みは続いています。動いた後は特に痛くなります。

痛み：腹部 VAS=25mm、左肩 VAS=71mm

レスキュー使用：10mg×4回

8月16日

9:00 フェントステープ 3mg に増量、ロゾゾ[®]ロソピナリウム 40mg に増量

17:25 鍼灸治療 4 診目

動作時で痛みがでるが、安静時の痛みほぼ消失。鍼をしているとポワンと温かくなってくる。

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、左上巨虚

<鍡鍼>左肺俞、左厥陰俞、左肝俞

<円皮鍼>左外関、左合谷、左復溜、左厥陰俞、左臨泣

18:00 こうやって痛みを癒そうとしてくれる専門家の方が、子供たちが傍にいて、そんなことに今幸せを感じます。

レスキュー使用：4回

8月17日

16:00 肩が痛くて身の置き場がない。勘弁してって感じ。

17:30 肩甲骨の痛みが来るのが怖い。フェントステープ 4mg、オキシコドン塩酸塩水和物(散) 20mg に増量する。

レスキュー使用：10mg×3回、 20mg×2回

8月18日

2:00 オキシコドン塩酸塩水和物(散)増えたから眠れると思う

10:00 プレガバリン 25mg→75mg に増量

レスキュー使用：10mg×2回

8月19日

17:30 プレガバリン効いているのか痛みマシです。でも副作用なのかフラフラする。

レスキュー使用：10mg×2回

8月20日

17:30 鍼灸治療 5 診目

抜けたから痛くない…と言うわけではなくて…。ろれつ回らず目もトロンとして視点合わず。鍼灸治療中から入眠

☆治療部位

<毫鍼>右臨泣、左太衝、右膝関、左太溪、左三陰交

<鍡鍼>右太衝、左外関、右合谷

<円皮鍼>左後溪、左太溪、左太衝

レスキュー使用：10mg×2回

8月21日

7:30 オキシコドン塩酸塩水和物(散)前回 6 時間前に使用したと伝えると「では飲みます」と。

13:30 スイカ 4 切れ、メロン 2 切れ咽なく食されている。

17:00 状態悪く鍼灸治療中止

レスキュー使用：10mg×3回

8月22日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価

1 診目治療前後で VAS=77mm→VAS=55mm まで改善が認められた。

- 患者コメント

1 診目から「気持ちがいい」「温かい」とコメントが得られた。

- 家族コメント

1 診目、訪室時患者の声が弱弱しく聞き取れないくらいだったが、治療後には「さつきより声に力あるやん」と娘からも言われていた。

- 医師・看護師・医療スタッフの印象

どれだけ効果があるか分からないが、気持ちがいいと語る

【総括】

本症例は左肩甲間部痛に対し、鍼灸治療介入した。結果、治療前後では痛みの軽減が認められたが、継続的な効果は得られなかった。患者コメントも考慮し、それらの点から継続的効果はなかったが、有効と診断した。しかし、愁訴に対してだけでなく、鍼灸治療中「気持ちがいい」と安心感を与えられていた。この患者は本研究で行っている軽微な刺激を好んでおり「こういう治療ができるところが分からないし、病院でやってもらえると安心して受けられます」といったコメントがあった。本症例からは、毫鍼だけでなく、鍚鍼の技術を有し、技術を使い分ける鍼灸師を教育する重要性を痛感した。

20130014 (NO. 64)

【患者】78歳、男性

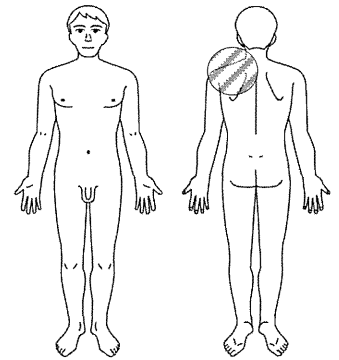
【既往歴】転移性脳腫瘍 (stage III)

【病態】肺癌 (腺癌)

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-2年3月、CT下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部MRIでも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーはCEAが上昇。画像からの長径90mm程度。(X-2年11月では81mm)、脳MRI (X年5月) 右後頭葉の像はなし。気管チューブがあるため、発語はする時としない時がある。



【服薬状況】

X-2年11月、ステロイド開始 (少量にて)。12月中止。X-1年7月、倦怠感の症状が現れたため、再開する。

X年7月、オキシコンチンを開始する。

【鍼灸治療目的】

肩背部痛に対し、鍼灸治療を依頼される。

【東洋医学的所見】

左肩甲間部に重だるい痛みあり。脈診：腎弦、肝渋。下腿細絡。左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

【弁証】左手少陽経絡病、血瘀

【鍼灸介入期間】12日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】退院

【入院期間】3日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 左肩甲間部：著効

【治療経過】

8月21日

18:00 鍼灸治療1診目

左肩甲間部に重だるい痛みがある鍼灸治療経験があるが、鍼灸は信じていない。

脈診：腎弦、肝渋。下腿細絡

触診：左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、左行間

<円皮鍼>左前谷、左外関、左心兪

レスキュー使用：3回

8月22日

18:00 鍼灸治療2診目

変わらんなあ。今は薬が効いているから、そんなに痛くない。右手動かしたり体重かけると痛みが走る時があるんや。右三角筋前縁中央に痛みを訴える

脈診：肝やや渋

触診：右魚際圧痛、左後溪緊張、左心兪圧痛、左肺兪圧痛

☆治療部位

<円皮鍼>左後溪、左肺兪、左心兪、右魚際

レスキュー使用：3回

8月23日

6:00 眠れんし、イライラする。コンチンくれ。

8:00 肩背部痛 VAS=60mm

11:00 朝に呼吸苦あり、疼痛もやや強め。鍼灸の効果は右腕の痛みにも効果があるよう

17:30 鍼灸治療3診目

右の腕の方はよう効いた。右の肩の外側が痛い。

脈診：脾弦

触診：左後溪緊張、右外関緊張、右合谷緊張

☆治療部位

<毫鍼>左後溪、右外関、右肺兪

<円皮鍼>左後溪、右合谷、右外関、左厥陰兪、左手三里

20:00 肩背部痛 VAS=2mm

8月24日

8:00 NRS=1~2程度。深夜帯レスキュー使用なし。

20:00 NRS=2~3の痛みを訴える。

8月25日

10:30 まあ、眠れた。乾燥したらつまってしまわないか不安。吸入後さらさらとした痰がでる。痛みは左胸と左肩甲骨の所。痛み：VAS=28mm。

14:30 痛み：VAS=26mm。安定している。

レスキュー使用：3回

8月26日

6:00 胸の痛みは大丈夫。肩甲骨が痛いからシップ貼って。

痛み：VAS=32mm

レスキュー使用：2回

8月27日

16:30 ここ1カ月は今一つ積極性がない。

レスキュー使用：2回

8月28日

17:30 鍼灸治療4診目

右肩、左肩甲間部に痛みはない。

☆治療部位

<円皮鍼>後溪、右外関、左手三里、左三陰交、右太溪

レスキュー使用：2回

8月29日

5:30 夜間はまあまあ眠れた。

17:00 鍼灸治療5診目

調子良い感じ。右肩のところがキリキリ痛むことも。

脈診：脾やや渋、腎虚・無力

☆治療部位

<毫鍼>右合谷、右後溪、右三陰交

<円皮鍼>左後溪、右合谷、左神門、右内関

レスキュー使用：4回

8月30日

10:00 今日は調子がええ。鍼灸はちょっといいみたい。

16:00 鍼灸治療6診目

右肩後面が痛い。昨日よりはマシ。

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右裏三里、右太溪、行間

21:00 呼吸苦、痛みは訴えない。ニコニコされている。

8月31日

8:00 使ってない。深夜帯レスキュー使用なし。

レスキュー使用：2回

9月1日

8:00 呼吸苦あり。左肩痛：NRS=2~3.

18:30 疼痛の訴えあり。

レスキュー使用：2回

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
肩甲間部痛は VAS=60mm 近くの痛みがあったが、以後 VAS=2~32mm (NRS=1~3) と痛みに波が出始め、最大疼痛も以前ほどではなくなったことから、改善傾向が認められた。また、治療直後には完全に除痛できていたことから著効と診断した。
- 患者コメント
3 診目、右肩は効果あった
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
投薬量も増量しており、何が効果的だったかは不明だが、治療後から落ち着いている。自立心を尊重してもらえたり、安心感が得られるなどの効果があったのではないか。

【総括】

本症例は、肩背部痛に対して行った。コミュニケーションに限りがあるため、わずかな情報の中で行っていた。

鍼灸治療を過去に経験していたが、「鍼灸は信用していない」と 1 診目に言われていたが、予定時間を少しでも遅れると「まだこないのか」と看護師に確認されており、楽しみに待たれている姿が見られていた。

鍼灸治療を受けている平日は状態が良いが、休日では呼吸苦や疼痛の訴えが多い印象にある。

また、医療スタッフから「治療後から落ち着いている（痛みを訴えない）」というコメントからも、愁訴である痛みだけでなく、精神的安定にも効果があったと考え、著効であったと診断した。

20130015 (NO. 65)

【患者】 93 歳、男性

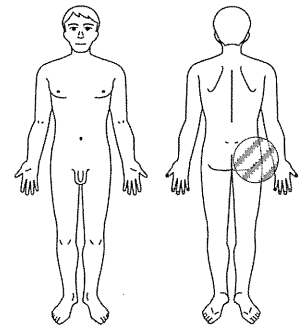
【既往歴】 高血圧、肺気腫、胸部湿疹、胆嚢結石、慢性気管支炎、便秘

【病態】 前立腺癌 (H4 に舞鶴共済)

【ターミナル期】 ターミナル前期

【現病歴】

8 月 3 日の 3 時半にトイレに行く際、転倒し、動けなくなった。家族が 6 時ごろに見出し、A 病院に受診した結果、骨折の疑いがあり、緊急要請された。もともと ADL 自立。



【服薬状況】

特記なし

【鍼灸治療目的】

転倒後より痛みが続く、右大腿部痛に対して、患者本人からの依頼があり、開始する。

【東洋医学的所見】

脈診：腎無力、触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫。疼痛部位は臥位で圧迫かけても再現されず。膝の屈曲運動にて痛みを訴える。右足陽明経熱感あり。

【弁証】 右足陽明経絡病

【鍼灸介入期間】 8 日間

【鍼灸治療回数】 4 回/週、5 回

【転帰】 退院

【入院期間】 3 日間

【評価】 評価説明するが理解が得られなかったため、患者コメントおよび、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 右大腿部痛：著効

【治療経過】

8 月 23 日

10:00 右下肢痛あり。

鍼灸治療を希望する。

17:30 鍼灸治療 1 診目

2 週間前にトイレに行こうとして、デーンとこけてしまっ
たんだ。この、右の足の付け根を何とかしてほしい。

脈診：腎無力

触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右陥谷、右外陥谷、右臨泣、右復溜、左行間

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右臨泣

8月24日

14:30 まだ足はガクツとなる。右下肢に力が入りにくいとのこと
だが、ふらつきなく歩行できている。

8月25日

14:30 ぐるっと1周歩くんはまだちょっと…。足の付け根が痛い
んや。鍼灸は効くと思うとるんや。続けてしてもらわな、
あかんと思うわ。

8月26日 著変なし。

8月27日

14:30 右足が痛いで動きにくいんや。

17:30 鍼灸治療 2 診目

やっぱり、一回じゃなかなか痛みとれんな。足の付け根ん
とこと裏側が痛い。(大腿後面に痛み)

☆治療部位

<毫鍼>臀部圧痛点

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右臨泣、右内通谷、右復溜、
右行間

※鍼灸治療後「よい感じや!」、痛み消失。

8月28日

15:00 やや強引な歩行をしている。

18:00 鍼灸治療 3 診目

痛みはあの後からなかったんやけど、トイレに立った際に
どっか膝の上らへんでズキーツとした。

脈診：脾滑

☆治療部位

<毫鍼>右足三里

<円皮鍼>右梁丘

※鍼灸治療後、足の動作時痛軽快する

8月29日

17:30 鍼灸治療 4 診目

足の上げ下げは簡単にはできない。あと2回しかしてもら
うチャンスがない。もう、この痛い所にさしてくれ!
右腓腹筋に強い緊張あり。本人希望により、圧痛点を先に

行い、改善しなかった場合四肢末端を使用する。

☆治療部位

<毫鍼>右臀部圧痛点4か所、右足三里、右陥谷、右外陥谷、
右地五会、右三陰交、右漏谷

※本人希望で局所を行うも痛み改善せず。四肢の経穴使用したことで、
「上出来や!」とのこと。

8月30日

16:00 鍼灸治療 5 診目

痛みは前進するより後退しとる。局所を希望さ
れるが、了解を得て四肢末端を使用する。

☆治療部位

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右行間、右臨泣、右復溜、右通谷、
右内通谷

※鍼灸治療後、痛み消失

8月31日

10:00 歩行器にて、歩行できている

13:30 安定し、ふらつきはないが、時々躓いている。

9月1日 痛み訴えることなく、経過できている。

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
説明するも理解されなかったため、使用せず。
- 患者コメント
治療直後：痛みなし
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
痛みを訴える事なく過ごされている日もあり

【総括】

本症例は癌性疼痛ではなく、膝痛に対して行った。末梢経穴を使用
して治療を行っていたが、患者自身は直接刺して欲しいという希望が
あったため、一度希望に沿って行った。結果、直後満足感は得られた
ものの、翌日には痛みは変わらなかったまたは痛みが増したため、再
度末梢経穴で行ったところ、改善が認められたことから、著効と診断
した。

これらからも、満足度の高い局所治療のみならず、末梢経穴を使用
した効果的な治療法ができなくてはならないと考える。

20130016 (No. 66)

【患者】74歳、男性

【既往歴】特記なし

【病態】膀胱癌（全摘）

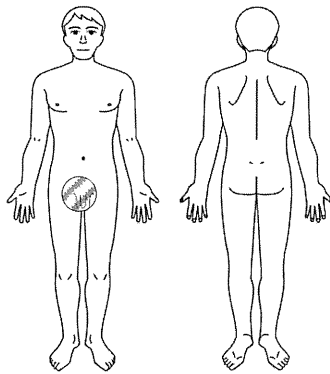
【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X年9月に退院後、引き続き外来にて経過観察となる。会陰部痛は退院後も消失することなくあったため、患者本人の希望により、外来にて鍼灸治療継続となる。治療期間は1週間、2週間、4週間と、状態に応じて、医師の判断で間隔があくため、今回不定期な鍼灸治療介入ではあるが施行開始する。

【服薬状況】

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物散



【鍼灸治療目的】

会陰部痛に対して、鍼灸治療介入。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝やや洪

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

【弁証】肝胃不和、血瘀

【入院期間】日間

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/2~4週、24回

【転帰】外来にて継続中

【評価】外来で使用している痛み日誌にあわせ、NRSで評価を行っていたが、口癖のように「10」と繰り返すようになったので、家族、医師・看護師の印象評価を採用する。

【鍼灸治療最終評価】

1) 会陰部痛：有効

【治療経過】

9月20日

15:30 レスキュー使用5~6回/日。嘔気あるも経口摂取良好

16:00 鍼灸治療1診目

痛みは変わらない。ムカつきあり、味覚障害のため美味しいかも分からなし、ムカつき少しあるよ。

脈診：脾・腎弦、肝やや洪

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

食欲：ラーメン食べたい時があったけど、腎臓食やし無理やるな

睡眠：まずまず

痛み：ズキズキする。NRS=8~10

☆治療部位

〈毫鍼〉左期門、左足三里、左三陰交、右行間、陰部神経、次髎、崑崙

〈円皮鍼〉左期門

9月26日

14:30 嘔気があるとのこと、一度胃カメラしてみてもよいか。

15:00 鍼灸治療2診目

食欲あるも、ムカついて吐き気がする。痛いかわからないかで痛みの強弱はない。強い時はVAS=78mm。

脈診：胃・腎弦

舌診：紅舌、白膩苔

睡眠：熟眠感はない

排便：1回/3日→2回/日か1回/2日に。

☆治療部位

〈毫鍼〉足三里、右束骨・京骨の間、右公孫、左太衝、次髎、陰部神経

〈円皮鍼〉足三里

10月4日

15:00 鍼灸治療3診目

痛みあまり変わらず。ムカつきはまだあるので、今度胃カメラする事にしました。

☆治療部位

〈毫鍼〉左期門、右合谷、右経渠、右足三里、復溜

15:30 レスキュー使用回数が7~8回/日に増加。

10月11日

15:00 デイサービス中は痛み、嘔気はなかった。

16:00 鍼灸治療4診目

デイサービスではゲームをしたり、体操がある。

脈診：脾・腎微弦

舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張

☆治療部位

〈毫鍼〉合谷、右期門、左足三里、右復溜、右太衝、左公孫、次髎、陰部神経

<円皮鍼>左合谷、行間

10月18日

16:00 レスキュー使用回数が6~8回/日。痛みは変わらないと。

16:10 鍼灸治療5診目

あまり変わらない。家にいると痛みが気になる。

最近躓くことが多くなっている気がする。

脈診:腎弦

舌診:紅舌、舌辺厚苔、舌下静脈怒張少々

睡眠:痛みで起きるけど、痛くなければ眠れている。

触診:右足三里~上巨虚緊張、左足三里軟弱、右太衝緊張、

左公孫緊張、手三里緊張圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左下巨虚、右太衝、左公孫、合谷、手三里、

次膠、志室、脾俞

<e-Q>左足三里

10月25日

16:30 BW:67.65kg、相変わらず会陰部痛あり。デイは楽しいが、家では家族とケンカしている。

レスキュー使用回数は7~8回/日

16:40 鍼灸治療6診目

呼吸がゼエゼエとしんどい。何かしている間に痛み忘れて
いることがある。

脈診:滑

舌診:紅舌、厚膩苔、舌下静脈怒張

☆治療部位

<毫鍼>経渠、中府、左期門、右足三里、行間、右公孫、左肺俞、

右脾俞、左胃俞、志室、次膠、陰部神経

<鍢鍼>隠白

<円皮鍼>右風門、肺俞

11月8日

16:00 痛み変わらないと。近医から眠剤を処方されており、夜間
やや眠れている様子。レスキュー使用回数は5回/日。

16:10 鍼灸治療7診目

変わらんね。

脈診:脾弦

触診:右内関緊張、合谷緊張、右足三里~上巨虚緊張、胆経緊張、

左公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>右内関、合谷、右上巨虚、侠溪、右公孫、右胆俞、志室、

大腸俞、右崑崙、次膠、陰部神経

<鍢鍼>背部、行間

11月22日

15:00 レスキュー使用回数は5回/日。嘔気なし。

16:00 鍼灸治療8診目

夜が少なくなったでしょ?近医の薬が効果あるんやと思う。

脈診:脾滑、肝弦

触診:胸脇苦満。

☆治療部位

<毫鍼>合谷、左期門、右上巨虚、行間、左太溪、左三陰交、右胃俞、

志室、中膠、陰部神経

<円皮鍼>左大都

12月6日

15:00 便秘時に痛み増悪。嘔気改善せず

15:30 鍼灸治療9診目

手の震えがあまりしなくなった。痛み相変わらずで、ズー
ンとしたような痛みで、脂汗がでるくらい。

脈診:脾微弦、虚

舌診:淡紅舌、厚膩苔(舌根部)、舌下静脈怒張少々。

触診:胆経上皮膚乾燥。合谷緊張、外関表面緊張、右上巨虚緊張、

行間圧痛、地五会圧痛

☆治療部位

<毫鍼>陰部神経、次膠、跗陽、合谷、行間、右外関、左公孫

<円皮鍼>地五会

12月18日

14:30 BW:68.9kg。レスキュー使用回数が5回/日になる

15:30 鍼灸治療10診目

相変わらず。娘に対しての不満があり、強い。デイサービ
スが物足りなく感じている。

脈診:滑

便痛:1週間ない事も。

☆治療部位

<毫鍼>右合谷、三陰交、太衝、章門、上巨虚、左太溪、右公孫、

至陽、胃俞、志室、次膠、陰部神経

<円皮鍼>合谷

1月10日

15:30 レスキュー使用回数は5回/日に安定している

15:40 鍼灸治療11診目

年末年始どこに行くわけでもなく家にいる。

脈診:脾滑、腎弦

舌診:淡紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診:右胃経熱感、右上巨虚緊張、左太溪緊張、右公孫緊張、

内庭圧痛、外内庭圧痛、左期門圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右公孫、右合谷、左期門、内庭、外内庭、左太溪、
陰部神経、次膠、腎兪、胃兪

<円皮鍼>左行間

16:00 レスキュー使用回数は4~5回/日
家にいるとイライラする。鍼灸治療は気持ちいいとのこと。

4月4日

15:30 デイサービスの有る日:4~5回/日、その他は7回/日

15:45 鍼灸治療 12 診目
最初の2週間は時々痛みがあり、家にいると激痛が起こっていた。

脈診:脾滑、腎弦

舌診:淡紅舌、舌下静脈怒張

痛み:ズキッとした痛み

部位:右大腿外側

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太衝、右公孫、右漏谷、左期門、右陰部神経、
右次膠、右肝兪、筋縮、崑崙

<円皮鍼>左三陰交

15:50 NRS=8~10。会陰部は締め付けられる痛み。

5月2日

15:30 BW:72.3kg。レスキュー使用回数は6回/日

17:40 鍼灸治療 13 診目
イライラすると痛みが増す気がする。

脈診:腎弦

舌診:紅舌、白膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右期門、左合谷、足三里、左上巨虚、右三陰交、左復溜、
太衝、陰部神経、次膠、右脾兪、右腎兪

5月30日

15:30 レスキュー使用回数は6回/日。変化なし。

15:40 鍼灸治療 14 診目
痛いね。娘が家にいるからイライラする。

脈診:肺やや滑、腎微弦

舌診:暗紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診:Th7、Th12 棘突起圧痛、左胃兪付近膨隆、右胆兪圧痛、肝経・
胃経熱感、左期門圧痛、足三里緊張、三陰交深部硬結圧痛、
右地五会圧痛、左臨泣圧痛。ストレス発散できてない様子。

☆治療部位

<毫鍼>左期門、外関、足三里、三陰交、行間、右地五会、左臨泣、
Th7・Th12 俠脊穴、腎兪、次膠、陰部神経

<円皮鍼>外関、三陰交、行間、公孫、尺沢

6月27日

15:30 しんどいと。レスキュー使用回数は6回/日

16:00 鍼灸治療 15 診目
家にいるとしんどい。

脈診:肝洪、脾微弦

舌診:紅舌、舌尖紅、白膩苔、舌下静脈怒張。

☆治療部位

<毫鍼>左合谷、右外関、左膝関、右上巨虚、三陰交、内庭、外内庭、
左公孫、右地五会

<円皮鍼>右公孫、Th5・Th6・Th7 俠脊穴

7月25日

15:30 鍼灸治療 16 診目
娘がきついです。痛みも強くなってきている。足も重だ
るいし、躓きそうになる。

脈診:脾滑、腎微弦

触診:行間圧痛、足三里緊張(R>L)、右期門圧痛、右外関緊張

☆治療部位

<毫鍼>右期門、右外関、右後溪、足三里、右内庭、右外内庭、行間、
左太溪、風池、右膈兪、左陥兪、右胃兪、志室、崑崙

<鍍鍼>肩背部

<円皮鍼>Th7 俠脊穴、右内庭、右外内庭

※鍼灸治療後はしんどさ消失したと。

16:00 レスキュー使用回数6回/日

8月22日

15:30 鍼灸治療 17 診目
デイサービスに行っている時は気が楽でいいです。
家にいると息が詰まる。

脈診:肝洪、腎弦

触診:胸脇苦満

☆治療部位

<毫鍼>内庭、外内庭、右臨泣、左侠溪、右足三里、左期門、中脘、
左公孫、陰部神経、次膠

<円皮鍼>至陽

16:10 デイの時は痛みが気にならないらしい。

16:30 痛いのがかなん。娘との葛藤、ストレスを言われる。

9月5日

15:30 フェントステーブ効かなくなってきた。デイに行く日でも
7回/日になっている

15:40 鍼灸治療 18 診目
かわらんです。痛みのある時間帯も、間隔も特別何がある

からというわけではなくて、常に痛いです。来る途中でも市販の薬のんできた。入院したいくらい。夜間も眠れないし、ストレス溜まるし。デイとかここで先生たちに話をしているとマン。これが日ごろから続けばいいのに。

脈診：脾虚、肝弦

舌診：淡白舌、白膩苔

触診：両胆経緊張、地五会圧痛

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>至陽、腎兪、次髎、地五会、右内庭、左中封、右内関、左外関、地五会

<円皮鍼>至陽、臏中、左期門

9月26日

15:00 レスキュー使用するとひどくなる。最近脂汗がでる。

15:30 鍼灸治療 19 診目

かわらんね。服薬すると直後激痛。下腿に力が入らない。

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右地五会、左内通谷、右期門、臏中、右気戸

10月10日

15:00 散歩するが足ががくがくする。経口摂取はそこそこ。

16:00 痛み変わらず、下肢のしびれあり。歩行しにくい時がある。

脈診：肝弦、腎微弦

舌診：紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診：期門圧痛、右章門圧痛、公孫緊張 (R>L)

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>期門、右章門、左三陰交、右公孫、左上巨虚、左陥兪、右胃兪、志室

※陰部神経刺鍼響きあり。鍼灸治療中入眠される。治療後は「痛みマシになってきた」と。

10月24日

15:00 痛みも家族間も変わりなし。

15:30 鍼灸治療 20 診目

食後にムカつきがあった。痛い時はレスキュー使用回数 9 回/日、毎日娘とケンカしておりストレスがたまる。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、右内関、左中封、足三里、右期門、左不容

11月7日

16:00 レスキューは8~10回/日使用している。依存してきている。

16:30 鍼灸治療 21 診目

変わらんね。いつもと一緒に。(娘さんとは?) 一緒に。酷くなるばかり。

脈診：脾滑、肝弦

舌診：暗淡白、白膩苔 (舌根部)

☆治療部位

<鍼通電 100Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>左復溜、左上巨虚、右公孫、左尺沢、左期門

11月21日

16:00 しんどいね。足がしびれるし。膝下が全部しびれる。ちょっと動いただけでも息切れするし。

脈診：脾滑、無力、腎弦

舌診：淡紅舌、白膩苔。

※下腿にところどころ湿疹あり。レスキュー使用回数 8~9 回/日

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右公孫、内庭、外内庭、右内通谷、左東骨・京骨の間、肝兪、胆兪、志室、次髎

<円皮鍼>右肺兪、尺沢、崑崙

16:10 深夜も痛み変わらず、膝下の痛みあり。

12月5日

15:30 著変なし。レスキュー使用回数 7~9 回/日。約 2 時間おきに使用している。

16:00 鍼灸治療 22 診目

痛い。どんどん痛い。呼吸もえらい。家では娘と関係悪化している。本日の来院の際もケンカしてきた。

脈診：脾滑、肝弦

触診：足三里緊張、右公孫緊張、右太衝軟弱圧痛

☆治療部位

<毫鍼>恥骨上縁の圧痛点 4 か所、右太衝、右公孫、足三里、左期門、肺兪、脊中、右脾兪、右胃兪、志室

<円皮鍼>右公孫、左尺沢

※鍼灸治療中は痛み消失。「こんなに痛みがないのは珍しい」とのこと。

主治医や妻よりストレス発散のために何かしては? と提案されると顔をしかめ、「イタタタ…」と言われる。何かすすめることもストレスと感じているのか。

12月19日

15:30 薬で 2 時間は眠れる。レスキュー使用回数 8~10 回/日。

【妻】昼間でも眠っている時がある。

【本人】昼夜逆転しとるんかも。

16:00 鍼灸治療 23 診目

いつもの事ですわ。治療中、入眠されている。

脈診：肝弦、胃滑、腎虛

触診：足三里～上巨虚緊張、右公孫緊張、

☆治療部位

〈毫鍼〉期門、右上巨虚、左復溜、右公孫、左肝兪、右胆兪、脾兪、

胃兪、大腸兪、崑崙

〈e-Q〉肺兪

〈鍚鍼〉背部、腹部

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
口癖になってきたため、使用を中止した。
- 患者コメント
「変わらないあ」「痛い」と言われていたが、後半になると「レスキュー使用した直後は激痛が走る」など訴えるようになる。痛みで眠れないと訴えるも、家人からは寝ている姿を見ても。
- 家族コメント
隠れて煙草を吸ったりしている。痛いというが、よく寝ていたりするんです。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
外来でも「痛い」というが、鍼灸治療中は気持ちよさそうにしている。

【総括】

鍼灸治療は、治療前後の状態から疼痛に対して有効と考える。その理由には鍼灸治療前も「常に痛い。今も痛い」と訴えることも多かったが、置鍼中は居眠りしていたことから痛みは緩和していたと考える。家にいる間は、家人との関係からストレスを感じる事が多々あり、ストレスが強い時は痛みを訴える回数が増えている。そこで、ペインクリニックの受診や、気分転換に何かすることを提案するも、理由をつけて断っているため、指導の面からも難しい症例と感じた。

20130017 (NO. 67)

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-1年9月中旬頃より、腹部膨満感を自覚した。10月に腹部エコーで腹水と脾腫を指摘されたため、CTをおこない、卵巣腫瘍を認めた。さらに精査で進行性卵巣癌、癌性腹膜炎と診断される。

予後詳細は未告知である。

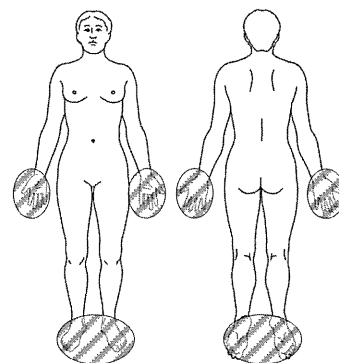
【服薬状況】

ファモチジン、パンテチン、

センノシドA/B、

モルヒネ塩酸塩水和物液

術後化学療法:TC療法(パクリタキセル/カルボプラチン)



【鍼灸治療目的】

化学療法副作用である手足のしびれに対し、AB法（偽鍼・鍼）を行った。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：あり。望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm、足背VAS=90mm、掌VAS=67mm、
足底VAS=85mm

【弁証】気虚、血虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/週、6回

【転帰】外来（のちに緊急入院）

【評価】しびれに対しVASにて評価。また、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) しびれ：やや有効

【治療経過】

9月12日

14:00 鍼灸治療1診目

手足のしびれが強く、ペンはうまく握れない。
足背は腫れぼったいじんじんとしたしびれがあり、
足手は日によって変動あり、本日は強い。

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：食べすぎの様な気がする

望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm

足背VAS=90mm

掌VAS=67mm、足底VAS=85mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

9月19日

14:00 鍼灸治療2診目

前回の鍼は2日目ではがれてしまった。指の付け根の腫れがひいて、指が伸ばせるようになった。アロママッサージしているけど、今まではこんなことなかった。
(マッサージは鍼灸開始前から行っている)

しびれ：指先（手）VAS=85mm、足背VAS=90mm、掌VAS=76mm、足底VAS=80mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

9月26日

14:00 鍼灸治療3診目

特に変化なし。指の浮腫みも元に戻ってきてしまった。今回は4日間、鍼残ってました。足は3日ほどでとれました。

脈診：滑、腎微弦

舌診：淡白、薄白苔

触診：左胃経熱感

しびれ：指先（手）VAS=94mm、足背VAS=94mm、掌VAS=83mm、足底VAS=85mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月10日

14:00 鍼灸治療4診目

わりと手の方は1週間近く残っていたんですが、足元はすぐに剥がれてしまった。

※円皮鍼貼付後手の先にチクツとした感じ（嫌な感じではなかった）

がした。足の方は貼付後温かい間隔あり。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：暗淡白、薄白苔、舌下静脈怒張（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=98mm、足背VAS=85mm、掌VAS=81mm、足底VAS=88mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月17日

14:00 鍼灸治療5診目

手は4日目、足は2日目に剥がれた。左足先がじんじんと痛かったのが、左足背に移動してきている。掌もグラデーシヨンの様に指先（手）>指の付け根（手）>掌の順にしびれの強さが違う。

脈診：肝・腎弦、数

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張

しびれ：指先（手）VAS=87mm、足背VAS=91mm、掌VAS=78mm、足底VAS=88mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月24日

14:00 鍼灸治療6診目

あまり変わらない感じがする。でも、昨日は手の浮腫みが無くなり、グッと握ることができてました。足のむくみはマッサージとしていたのでどっちが良かったか分からなかったけど、浮腫みは先週よりも良くなって、しびれもマシになってます。その代わりに脛の裏が時々痛い時がある。

脈診：弦、腎無力

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：三陰交緊張圧痛、八邪穴圧痛（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=86mm、指の付け根（手）VAS=79mm

足背VAS=65mm、掌VAS=58mm、足底VAS=57mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

【評価ポイント】

- VAS、NRS等による評価
円皮鍼による偽鍼、鍼と効果の差をみたが、治療1週間後でもあまり効果の差を認められなかった。
- 患者コメント
偽鍼3回目と、鍼3回目の時を比較すると、鍼の方が若干ではあるが、「しびれがマシになった」というコメントが得られた。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
大きな変化は認められない

【総括】

本症例は化学療法副作用によるしびれに対し、円皮鍼（偽鍼と鍼）を用い、八風・八邪穴、三陰交を刺激し、効果の違いを調査した。結果的に、大きな差は認められなかった。治療効果はやや有効とした。

状態悪化に伴い、今までできた事が出来なくなるとストレスを感じていた。

20130018 (No. 68)

【患者】85歳、女性

【既往歴】S状結腸癌、ANCA関連血管炎、狭心症、
リウマチ性多発筋痛症

【病態】大腸癌

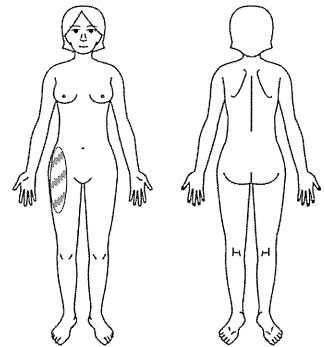
【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

以前より、全身倦怠感あり。定期受信日の金曜の夜、夕食少なく、その後1回嘔吐する。土曜日、「しんどいが動いていた。便秘を心配して、ラキソベロンを使いすぎた気がする」とのこと。その後から下痢便持続する。ほとんど食欲なく、食べては少量の食物残渣の嘔吐に伴って、心窩部痛あり。

痛みは今も持続。9月13

日に転倒。朝5時頃にトイレに行く際に屋内で転倒右股関節痛を訴える為、緊急入院となった。画像所見から、右恥骨と坐骨に骨折を確認。



【服薬状況】

プレドニゾン 10 mg、パファリン 81 mg、シグマート、フランドル、マグミット、ラベプラゾールなど

【鍼灸治療目的】

歩行時の右大腿外側部痛に対して鍼灸治療が依頼される。

【東洋医学的所見】

右股関節外側を中心に大腿にかけての痛みを訴える。右股関節他動時痛あり。自動動作もわずかに可能。足指運動可能、感覚障害なし。ムカつきあり。脈診：72回/分、脾肝洪、腎やや洪、細。舌診：淡白、黄膩苔、乾燥。触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱、深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

BP：131/78、HR：93reg、BT：37.1度

【弁証】右足少陽経絡病、肝胃不和（ムカつき）

【鍼灸介入期間】30日間

【鍼灸治療回数】4回/週、12回

【転帰】逝去